

高等学校改革の推進に関する要望書

日頃から、当飯田下伊那地域の教育振興に対して格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年12月1日付けで要望させていただきました、「高等学校改革の推進に関する要望書」につきましては、趣旨をご理解賜り、ご採択いただきましたことに深く感謝いたしております。

さて、ご承知のように、平成17年3月に県高校改革プラン検討委員会から最終報告書が出されて以来、当地域ではこの課題に真摯に取り組み、子ども達と地域の将来に思いをはせ夢を持って、苦渋に満ちた決断をまいりました。

統合新校においては、県議会でご同意いただいた統合案・実施計画により、子ども達の能力の発露と伸張に貢献することは勿論、21世紀型科学技術教育の拠点にふさわしい教育環境を有し、更に地域のものづくりの拠点として相応しい施設・設備が整備されることを強く希望しています。

しかし、昨今の経済情勢の急速な悪化により、財政状況は厳しさを増しており、統合新校の教育環境整備に影響するのではないかと懸念いたしております。

つきましては、これまでの当地域の真摯な論議と関係者の思いを重く受け止めていただき、下記事項の実現に誠意を持って取り組まれるよう、強く要望いたします。

記

1. 飯田工業高等学校と飯田長姫高等学校の統合については、県下第1号の総合技術高校(ものづくりの拠点校(基幹校))にふさわしい教育環境(施設・設備等)を整備すること。

このため、厳しい財政状況ではあるが、教育環境整備に必要な予算を確保すること。

2. 教育環境の整備に当たっては、学校・教育関係者等の意見を聞き検討を進めること。

以上

平成 21 年 6 月 2 日

長野県議会文教企業委員会
委員長 金子 ゆかり 様

南信州広域連合
広域連合長 牧野 光朗

南信州広域連合議会
議 長 中島武津雄